

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公開番号】特開 2020-107375 (P2020-107375A)  
 【公開日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-027  
 【出願番号】特願 2018-244893 (P2018-244893)  
 【国際特許分類】

G 1 1 B 5/596 (2006.01)

G 1 1 B 21/10 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/596

G 1 1 B 21/10 J

G 1 1 B 21/10 E

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のサーボデータを有するディスクと、

前記ディスクに対してデータをライトするライトヘッドと、前記ディスクからデータをリードする第 1 リードヘッド及び第 2 リードヘッドとを有するヘッドと、

前記ディスクの前記複数のサーボデータの間に位置するライトデータを前記第 1 リードヘッドでリードした第 1 信号と前記第 1 リードヘッドから前記ディスクの半径方向に離間した前記第 2 リードヘッドで前記ライトデータをリードした第 2 信号とに基づいて前記ヘッドを位置決めする、コントローラと、を備える磁気ディスク装置。

【請求項 2】

前記コントローラは、前記第 1 信号の大きさと前記第 2 信号の大きさに基づいて前記ヘッドを位置決めする、請求項 1 に記載の磁気ディスク装置。

【請求項 3】

前記コントローラは、前記第 1 信号の大きさが減少し、前記第 2 信号の大きさが増大している場合、前記半径方向において前記第 1 リードヘッドから前記第 2 リードヘッドへ向かう第 1 方向に前記ヘッドをずらす、請求項 2 に記載の磁気ディスク装置。

【請求項 4】

前記コントローラは、前記第 1 信号の大きさが減少し、前記第 2 信号の大きさが減少している場合、前記半径方向において前記第 2 リードヘッドから前記第 1 リードヘッドへ向かう第 2 方向に前記ヘッドをずらす、請求項 2 に記載の磁気ディスク装置。

【請求項 5】

前記コントローラは、前記第 1 信号をフーリエ変換して前記第 1 信号の大きさを検出し、前記第 2 信号をフーリエ変換して前記第 2 信号の大きさを検出する、請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の磁気ディスク装置。

【請求項 6】

前記コントローラは、前記第 1 信号の第 1 振幅と前記第 2 信号の第 2 振幅とに基づいて前記ヘッドを位置決めする、請求項 1 に記載の磁気ディスク装置。

**【請求項 7】**

前記第 1 リードヘッドの前記半径方向の第 1 幅は、前記第 2 リードヘッドの前記半径方向の第 2 幅よりも大きい、請求項 2 に記載の磁気ディスク装置。

**【請求項 8】**

前記コントローラは、前記第 1 信号の大きさが変化せず、前記第 2 信号の大きさが減少した場合、前記半径方向において前記第 2 リードヘッドから前記第 1 リードヘッドに向かう第 2 方向に前記ヘッドをずらす、請求項 7 に記載の磁気ディスク装置。

**【請求項 9】**

複数のサーボデータを有するディスクと、前記ディスクに対してデータをライトするライトヘッドと、前記ディスクからデータをリードする第 1 リードヘッド及び第 2 リードヘッドとを有するヘッドと、を備える磁気ディスク装置に適用されるリード処理方法であって、

前記ディスクの前記複数のサーボデータの間に位置するライトデータを前記第 1 リードヘッドでリードした第 1 信号と前記第 1 リードヘッドから前記ディスクの半径方向に離間した前記第 2 リードヘッドで前記ライトデータをリードした第 2 信号とに基づいて前記ヘッドを位置決めする、リード処理方法。